

# 来春高卒、県内求人4.12倍

## 7月末時点で過去最高

秋田労働局は、2024年となった。同局は「人手不足3月の県内高校卒業予定者に対して複数人の求人を出す企業が対する県内求人倍率（7月末 多いのに対して、県内就職を現在）が前年同期比0.73倍希望する生徒数が昨年より減増の4.12倍となった」と発表。減少したことが影響した」とみ

同期比6.8%（295人）の増加となった。主な産業は7.2%（118人）減の1555人。このうち県内就職を希望する生徒数は1.1倍で、16.6%（213人）増の1500人。次いで宿泊・飲食サービス業が15.5%（24人増の179人）だった。一方、医療・福祉が7.3%（32人）減の408人、サービス業が7.4%（40人）減

の497人だった。就職希望者5月15日時点は7.2%（118人）減の1555人。このうち県内就職を希望する生徒数は1.1倍で、16.6%（213人）増の1500人。次いで宿泊・飲食サービス業が15.5%（24人増の179人）だった。一方、医療・福祉が7.3%（32人）減の408人、サービス業が7.4%（40人）減

は4年連続で7割を超え、県内就職への関心が高い状況が続いている。今後とも状況を注視していきたい」と話した。来春卒業の高校生への求人

（大谷好恵）